

地区名	土岐地区	番号	1
タイトル	農業法人が抱える課題の把握について		
ご意見の内容			
<p>瑞浪市には日吉営農・大湫営農・大川営農・とうぶ営農・ふかさわ・つちや営農の6農業法人があると聞いております。</p> <p>瑞浪市役所に問い合わせたところ、瑞浪市の経営耕地面積は322haで、内農業法人の経営面積は167haとのことで、耕地面積の52%を6農業法人が管理しています。農業法人の経営面積には農作業受託面積は含まれておらず、実際に農業法人が管理している耕地面積割合は更に増えることとなります。以上の状況から、瑞浪市の農地の維持管理には当該農業法人の存在が必要不可欠となります。</p> <p>しかしながら、各農業法人は肥料・農薬の価格高騰、主食用米の価格低迷、若手農業従事者の不足、農繁期の期間農業従事者の確保、農業機械・設備の更新等、様々な課題を抱えており、課題内容もそれぞれの農業法人によって異なっていると思われます。このままで推移すれば、最悪の場合農業法人の経営継続が困難になる可能性があるかと危惧しております。</p> <p>そうなると耕作放棄地が増えてしまうことも考えられる。</p> <p>瑞浪市におかれましては、国や県と協調した様々な支援策を講じておられることと思っておりますが、各農業法人が抱える課題をどの程度把握しておられるのでしょうか？</p> <p>そこをお願いです。農業法人を訪問してそれぞれが抱える課題を聞き取りしていただきたい。そして聞き取りした課題を整理して、行政として支援できること、提案できること、指導できることを明確にしたうえで農業法人に回答できる体制を構築していただくようお願い申し上げます。</p>			
市長の回答	担当課	農林課	
<p>土地改良ほ場整備に関して、希望があった場合、国や県より補助金をいただきながら効率の良いほ場整備をしてきたと考えています。</p> <p>農林課では、次年度補助事業の要望調査時に営農組合を訪問し、農業機械、設備の更新予定や市への要望等の聞き取り調査を行っています。また、肥料の価格高騰対策など国や県の緊急対策事業創設時においても、その都度営農組合に対して制度説明や事業の活用等について確認を行っているところです。</p> <p>加えて、営農組合の構成員の方には農業政策の方針等を決定する協議会の委員にも委嘱をさせていただき、課題や要望等について発言していただく機会も設けています。</p> <p>まだまだ不十分な点があるのでしっかりとした頻度で連携を取っていきたいと考えています。</p> <p>引き続き、こうした機会を通じて、各法人の状況を把握し、行政としてできる支援を行っていきます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	2
タイトル	堤防通学道路の冬季夕方の照明対策について		
ご意見の内容			
<p>土岐川右岸堤防道路の桔梗幼稚園前から中央橋までの区間約500mについては、土岐小学校の通学路でありながら照明施設がありません。小学生の下校時間帯である夕方17時前後について、とりわけ10月下旬から1月中旬までの通行については、小学校については学校を出たら速やかに帰宅するよう学校から指導されているようですが、安全性を不安視する声があります。この問題については、コロナ禍となる以前に防犯灯等の設置を要望した経緯がありますが、道路とはいえ河川堤防であることから工作物は設置できないという回答を貰っています。</p> <p>しかしながら、LED照明やソーラーパネル充電等の技術の進歩は著しいものがあり、堤防の路肩に工作物を設置するのではなく、路肩に「置く」という形態のみで何らかの照明ができる時代になっていると考えます。この区間については、自家用車の幼稚園児の送迎があり、中学生・高校生が自転車で下校したり、ウォーキングされる住民も多いことから、交通安全については一層の注意を払うべき区間と言えますし、また、背の高い葎が繁茂する川原を考えると防犯上からも注意すべき区間であると考えます。</p> <p>私たちまちづくり組織も、青色回転灯パトロール活動が子どもたちの見守り活動でもあるという認識から、週1回下校時に合わせて巡回しておりますが、ぜひ再度照明施設の検討をお願いしたいと考えます。</p>			
市長の回答	担当課	生活安全課	
<p>防犯灯等の設置については、自治会がLED防犯灯を新規設置する場合は、補助金（補助率1/2）として支援させていただいております。ただし、取り付けるためのポールや電柱等がない場合は、要望された自治会においてポール等を整備していただいております。また、設置後の電気料金などの維持管理費用についても、各自治会にてご負担をお願いしております。</p> <p>ポール等の設置や置き型の照明の設置に関しての費用的な支援については、地域の課題解消の財源として「夢づくり地域交付金」の活用ができる可能性があります。最大300万円まで補助します。1年ではなく、2年にわたる事業も可能なので、まちづくりの事業として市民協働課までご相談ください。</p> <p>また、設置に伴い河川占用申請や、道路占用申請が必要となる可能性がありますので、設置される場合は土木課までご相談下さい。</p>			

地区名	土岐地区	番号	3
タイトル	農産物等直売所「きなあた瑞浪」の今後の活用について		
ご意見の内容			
<p>「きなあた瑞浪」は今後どのように発展していくのか。土岐町民として、「きなあた瑞浪」がもっと利用される施設になることを願っている。</p> <p>6月にオープンしたバーベキュー広場の利用状況はどのようなか。利用料金が高く感じる。価格がもう少し安くなれば、利用される方が増えるのではないか。</p>			
市長の回答	担当課	農林課	
<p>瑞浪市農産物等直売所「きなあた瑞浪」は、市の農業の振興、地産地消の推進、地域の活性化を目的に整備した施設で、平成24年6月にオープンしました。また、施設の更なる利用拡大に向けて、令和2年度には「ポーノポークハム工房“瑞浪”」、今年度には「バーベキュー広場」「体験農園」を整備しています。運営は指定管理者としてみずなみアグリ株式会社さんをお願いしています。</p> <p>この農産物等直売所は年間約50万人の方が来場される市の観光拠点でもありますので、地域の皆様はもとより、市外、県外など多くの方々に利用していただける魅力のある施設としていく必要があります。</p> <p>メニュー内容や価格などは、施設の管理・運営を行う指定管理者が設定しており、利用時にアンケート調査を実施しています。市としましては、指定管理者の実施したアンケートを確認する中で、メニュー内容や価格等について、利用される方のニーズにあったものとするよう指導していきます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	4
タイトル	新病院について		
ご意見の内容			
<p>始めに私見として、JA岐阜厚生連が土岐市立総合病院の建替えに伴って東濃厚生病院を閉鎖することは経営上止むを得ないことと考えますが、統合について市から市民への事前の説明、周知の進め方については非常に不満に思っています。</p> <p>さて新病院について、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小児科、産科、婦人科常設のための医師の確保は出来ているか ・市の予算で、これまでの東濃厚生病院への補助に比べて今後はどうなるの見込んでいるのか、また、新病院の建物の修繕費、増設費用の負担はどうなるのか ・アクセスで、土岐町民は今はコミュニティバスで乗り換えなく東濃厚生病院にいけないが今後はどうなるのか ・病院統合で事務系職員が過剰になると思うが雇用は確保されるのか 			
市長の回答	担当課	健康づくり課	
<p>【小児科、産科、婦人科常設のための医師の確保について】 本市と土岐市により新病院の設置主体として設立した「東濃中部病院事務組合」において、小児科、産婦人科の開設に向け準備を進めております。新病院建設基本計画において、小児科、産婦人科ともに「重点を置く診療分野・機能」に位置付けており、医局への強い働きかけなどにより医師確保の目途が立ち、開設が見込める状況であると認識しております。</p> <p>【市の予算について】 現在、東濃厚生病院に対し、公的救急病院運営補助として年間6千万円を支援しています。新病院建設について本市の負担は現在の支援額を大きく超えることはないと思っております。</p> <p>【アクセスについて】 現在あるコミュニティバス路線を新病院まで延長することは考えておりません。本市の拠点と新病院を結ぶシャトルバスを運行することが現実的であると考えます。新病院への交通アクセスは重要課題であり、新病院の運営を担うJA岐阜厚生連と検討を進めてまいります。</p> <p>【病院統合による事務職員の雇用について】 新病院は指定管理者制度を活用したJA岐阜厚生連による運営となるため、職員の処遇についてはJA岐阜厚生連により行われます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	5
タイトル	市の人口減について		
ご意見の内容			
<ul style="list-style-type: none"> 市報によれば、市の人口が3万6千人を切ってさらに減少傾向にあるが、アイシン誘致が人口減にどれほどの効果があったのか 市への移住増を見込んだとき、市内に総合病院がなくなることは大きなマイナス要因になると思うが、他に魅力的で具体的な施策はあるか 			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>平成19年に市長に就任以来20社ほど企業誘致をしてきました。用意した工業用地はすべて埋まりました。釜戸中学校、旧陶小学校の跡地の企業誘致も完了しました。</p> <p>【(株)アイシン瑞浪誘致について】 (株)エイ・ダブリュ瑞浪(現(株)アイシン瑞浪)は、平成29年11月に設立し、多くの市内在住者を雇用され、瑞浪市での定住に貢献いただいております。 国立社会保障・人口問題研究所が、平成27年に推計した令和2年の瑞浪市の人口は、36,860人でしたが、令和2年に実施した国勢調査では、37,150人と約300人上回る結果となりました。また、令和4年度の社会動態に関しては瑞浪市は±0だった。上回った要因がすべて(株)アイシン瑞浪を誘致したことに起因しているとは言えませんが、一定程度効果があったと考えております。</p> <p>【魅力的な施策について】 ハード面では、瑞浪駅周辺再開発と瑞浪市道の駅の建設です。これら2つを整備することで、まちの活性化や賑わいの創出を図り、また、幅広い世代にとって暮らしやすく、住み続けることができるまちとなるよう計画を推進しています。 ソフト面では、令和6年度から18歳までの医療費の無償化、市内の幼稚園、保育園、こども園の給食費の無償化を予定しています。 子育て世代に対し、経済的支援を実施することにより子育てしやすい環境を整え、市外にもPRしてまいります。</p>			

地区名	土岐地区	番号	6
タイトル	市議会の現状について		
ご意見の内容			
<p>市議会議員選挙の無投票、議員の議会での発言について瑞浪市が名指しで新聞記事になりました。瑞浪市だけの問題ではありませんが、議員定数、市長支持派ばかりの市議会の現状をどう思うか</p>			
市長の回答	担当課	議会事務局	
<p>市長と市議会は、二元代表制のもと、それぞれが独立した機関として市政にあたっています。 議員定数については、瑞浪市議会にて検討していると伺っています。 市長の立場上、市議会における議員定数や会派に関するご質問にはお応えすべきでないと考えています。 9月29日に一般の方向けに議会報告会があるのでご参加し、ご確認いただければと思います。</p>			

地区名	土岐地区	番号	7
タイトル	駅周辺再開発、道の駅について		
ご意見の内容			
<ul style="list-style-type: none"> ・駅前には本当に再開発が必要で再開発できると考えているのか ・道の駅は本当に必要と考えているのか 			
市長の回答	担当課	都市計画課	
<p>何もやらなければ市が発展していかないと考えており、将来を見通すことは難しいが必要なときに必要な事業をやることを考えております。</p> <p>議会や市民の皆さんの意見を聞きながら判断しており、瑞浪駅周辺再開発も道の駅も必要だと判断して進めております。</p>			

地区名	土岐地区	番号	8
タイトル	旧日吉中学校（現 日吉小学校）の建替えについて		
ご意見の内容			
<p>過去を振り返ったとき、例えば旧日吉中学校（現 日吉小学校）が建替え後20年を経たずして閉校となったことなどをどう思うか</p>			
市長の回答	担当課	教育総務課	
<p>旧日吉中学校については、当時昭和27年に建設された木造校舎の老朽化が進み、また、地震等で倒壊の恐れがあったため平成10年頃より改築を進める検討をはじめました。改築に際しては地元区長会をはじめ、地元で設立された日吉中学校建設協力委員会などにご協力を頂き計画を進めてまいりました。当時より児童生徒数の減少が懸念されていたため、議論を重ねたうえで日吉小学校の隣接地に小・中一貫校として改築することとなり、平成18年に新校舎が完成し移転いたしました。</p> <p>ところが、その間に市内の他地区においても児童生徒数の減少が進み、平成20年に開かれた学区制審議会において「小学校は各地域に残すが、日吉中学校と釜戸中学校と明世中学校、瑞陵中学校を統合して新中学校を設置する」との答申を受け現在のかたちとなりました。</p> <p>旧日吉中学校としては、小・中一貫校として改築して10年余りで瑞浪北中学校へ統合するという事にはなりましたが、その時々で最善の方策を皆さんの意見を伺う中で検討してきた結果であると考えております。</p> <p>なお、現在旧日吉中学校で使用していた校舎については小学校として転用改修し有効活用しています。無駄な投資ではないと考えています。</p> <p>現在、小学校についても学区制審議会を立ち上げて協議しておりますので、今後については、その結果を尊重していきます。</p>			

地区名	土岐地区	番号	9
タイトル	市長のこれまでの成果について		
ご意見の内容			
<p>五期20年で最大の成果は何だと思うか。</p>			
市長の回答	担当課	企画政策課	
<p>私一人の成果ではなく、いろいろな方々の協力を得て積み上げてきた成果だと思っています。事業成果の大小をつけることはできず、すべての事業が大きな成果だと考えています。どの事業も皆さんでつくりあげた成果です。</p>			

地区名	土岐地区	番号	10
タイトル	広域消防通信について		
ご意見の内容			
<p>現在、重度障害者で難病で治療中で救急要請をした事もあります。要請時に電話番号、目標物、処置方法等、話したりする時間にも病気の症状による呼吸困難で吸引を優先したいです。今後、特に広域消防通信になった時、説明するより登録を事前に行い、この電話番号から要請があれば聞き取り時に登録の内容かの確認で搬送先等全てが出来るようにならないか。</p>			
市長の回答	担当課	警防課 高齢福祉課	
<p>現在、事前にシステム登録し、通報を短縮するような体制にはなく、東濃5市による消防指令業務の共同運用時においても実現は厳しいと考えます。しかし、特別な対応が必要な方の情報は、出動時に確認し、救急隊とも共有しています。</p> <p>申し訳ありませんが、救急車を要請された方に適切な処置ができるよう、通報時には必要な質問はさせていただきますので、ご協力をお願いします。全ての質問が終わるまで救急車が出動しない訳ではありません。ロスが無いように出動していますので安心していただければと思います。</p> <p>また、健康状態に不安を持つおおむね65歳以上のひとり暮らしの方、身体障害者手帳3級以上のひとり暮らしの方、ねたきり高齢者をかかえる70歳以上の高齢者のみの世帯の方等には、あんしんネットワークシステムに登録していただき、ご自宅に通報装置を設置することで、非常ボタンを押すだけで消防署に通報することができ、生年月日、かかりつけ医等の質問を省略することが可能になります。当サービスの詳細につきましては、高齢福祉課へご相談ください。</p>			

地区名	土岐地区	番号	11
タイトル	乾電池や蛍光灯の収集場所の設置について		
ご意見の内容			
<p>乾電池や蛍光灯の収集場所を年に1回でもいいので、地域で設置する収集場所に収集に来ていただきたい。現在のクリーンセンター等の定位置での収集では、高齢の方が自分で持って行けず、誰かにお願いしないといけないので困っている。</p>			
市長の回答	担当課	クリーンセンター	
<p>乾電池、蛍光管の中には水銀が使用されている製品もあるため、瑞浪市では有害ごみとして、収集を行っています。また、蛍光管が破損すると非常に鋭利な割れ物となるため市内9箇所（クリーンセンター、市役所、文化センター、市民体育館、各コミュニティセンター）の指定集積場に乾電池、蛍光管の専用の箱を用意して安全に収集をしています。</p> <p>そのため、有害ごみをペットボトルや飲料缶などの資源ごみと一緒に収集することは、安全上難しいです。</p> <p>ごみの性質をご理解の上、指定集積場での収集にご協力いただきますようお願いいたします。</p>			

地区名	土岐地区	番号	12
タイトル	消火設備の更新について		
ご意見の内容			
<p>ホースの格納庫が15か所、消火栓8か所、消火器14か所一日市場にある。ホース格納庫の1つが腐食しており更新を消防本部に相談に行った。紹介していただいた業者の中に瑞浪市の業者は1社（安田株式会社）しかなかったので、見積を取ったら設置についてはできないので、個別に対応して欲しいと言われた。</p> <p>一日市場区内の業者に相談したら、ボランティアでやってもらえることになった。たまたま、やっていただける業者を見つけることができたが、設置までの依頼方法などもわかりやすく対応いただきたい。</p> <p>また、格納庫も1台約12万円するため区費で全て賄うには高額である。現状は補助金は無いとのことですが、その検討をお願いします。</p>			
市長の回答	担当課	警防課 市民協働課	
<p>消火栓ボックスの購入及び維持管理については、各自治会をお願いしております。</p> <p>消防本部に来庁いただいた折に、県内の取扱業者の一覧をお渡ししたのと思いますが、他市の業者についても値段や設置の可否についてお問い合わせいただければと思います。</p> <p>ホース格納庫などの地域の防災活動に直接必要な設備等の整備に対する補助については、（一財）自治総合センターが実施する「コミュニティ助成事業（宝くじ助成）」を活用することができます。基礎工事（アンカー工事を含む）を伴わず、格納庫の整備と同時に内容物であるホースを更新するなど条件があります。例年6月ごろ各地区区長会へ次年度の要望についてご案内しておりますので、是非ご活用ください。</p> <p>また、瑞浪市が各地区まちづくり推進組織に交付している「夢づくり地域交付金」も活用することもできます。</p> <p>詳細につきましては、市民協働課へお問い合わせください。</p>			

地区名	土岐地区	番号	13
タイトル	総合文化センターの移転先と収容人数について		
ご意見の内容			
<p>総合文化センターは現在800席ほどあると思いますが、移転後の規模（席数）についてどうなるか。その規模にする理由も教えてほしい。</p>			
市長の回答	担当課	都市計画課 社会教育課	
<p>座席数は400席程度を検討しています。今は約780席ありますが、年間でも数日しか満席になりませんし、二十歳の祝典の参加対象者も現在400人を下回っています。</p> <p>そのため満席でも二十歳の祝典の参加対象者全員が座れることを考慮するとこの程度の席数になる予定です。また効率的な運用をするために、大ホールの椅子は可動式にして、空いているスペースを分割して利用できるようにする予定です。</p> <p>規模を縮小する理由としましては、国の方針により、瑞浪市公共施設等総合管理計画を策定し、現在、市が所有する公共施設の面積を30%以上減らすことを目標としています。</p> <p>図書館と総合文化センターを複合施設にしてニーズに合うように建設費も節約しながら建設していきます。</p> <p>今の場所で図書館と総合文化センターを建替えるとおよそ5年間使用ができなくなってしまうデメリットもありましたので複合施設として移転を決めました。</p>			